

目標		板材を使って身の回りを整頓するものを製作しよう。環境に適した作物を育てよう。								
期	月	週	活動内容	時数	主な目標	重要観点	学習ポイント	指導形態 準備物	評価方法	他との関連
前期	4	1	1. 技術と私たちの生活	2	○技術の発達と私たちの生活や産業の変化の関係を理解する	① ④	・技術の発達と私たちの今の生活の関わりを考えよう		前期テスト 提出物 ・ノート ・設計図 ・授業記録 ・栽培計画 ・栽培記録	
		2	○作物を育てる場所や方法について調べてみよう。	3	○身の回りを整頓する製品の設計に必要な材料(主に木材)の性質や機能及び構造を理解する	① ④	・生物の育成にはいろいろな環境が影響することを調べる。			
		3								
		4								
	5	5	2. 身の回りを整頓する製品	3	○さまざまな品種があることを、()を例に調べてみよう。	① ④	・木材の性質や特徴についてまとめよう ・身の回りの木製品の機能や構造を調べよう	授業態度 発表	1年理科 植物の生活とからだのしくみ	
		6								
	6	8	3. 製作品の検討と構想のまとめ	6	○製作するものを検討し、設計する	① ② ③ ④	・設計の手順を理解しよう ・構想図をかこう	キャビネット図、等角図でかこう	1年数学 空間図形	
		9	○作物がよく育つ環境とは? ○栽培に適した土作り ①苗の植え付け ②日常の手入れ ③作物の収穫	6	○育成環境を管理することができる。 ○生物育成計画と栽培ができる。	① ② ③ ④	・自分の生活の中で必要なものを設計しよう ・栽培計画通り、水やり、追肥、病虫害駆除をして作物を育てよう。			
		10								
		11								
		12								
		13								
	7	14	4. 作業計画及び加工法の検討	4	○作業計画を立てながら、加工の目的や条件と、工具のしくみとの関係を理解する	① ② ③ ④	・作業計画をたてながら、製作の手順や必要な工具、機械を考えよう	水やりは大切だよ		
		15								
	9	17	4. 作業計画及び加工法の検討	4	○栽培と生活	① ② ③ ④	・製作で難しいところがあれば、先生に相談しよう! 無理だったらもう一度設計を考え直そう。			
		18								
		19								
		20								
21										
後期	10	21	5. 製作品の製作	18	○材料に適した加工を行い製品を製作することができる 【材料取り】 ・けがきがができる ・切断ができる	① ② ③ ④	・けがきのしかたを理解しよう ・のこぎり引きのしかたを理解しよう	体操服		
		22								
		23								
		24								
		25								
	11	26	作業は安全第一	【部品加工】 ・木口(こぐち)削り ・木端(こば)削り ・穴あけなどができる ・検査ができる	① ② ③ ④	・平かなやベルトグラインダ、卓上ボール盤など、加工に必要な工具や機械のしくみ、使用方法について理解しよう ・安全で効率的な作業方法について考えよう	後期テスト 提出物 ・ノート 授業の記録 自己評価 実習態度 授業態度 発表	寸法が短くなったら設計を見直そう。		
		27								
		28								
		29								
		30								
12	31	【組み立て】 ・下穴あけができる ・釘打ち(接合)などができる ・検査ができる	① ② ③ ④	・寸法どおりの部品になったか調べ、なってなかったら修正する ・四つ目ぎりやげんのうなどの工具の使い方について理解しよう ・安全で効率的な作業方法について考えよう	寸法が短くなったら設計を見直そう。					
	32									
	33									
1	34	【仕上げ】 ・塗装ができる	① ② ③ ④	・寸法どおりの製品になったか調べ、なってなかったら修正する ・塗装のしかたを理解しよう						
	35									
2	36	6. これから求められる技術	2	○技術が果たしている役割を考察することができる	① ② ③ ④	・環境保全、省エネルギー、省資源のために発達した技術についてまとめよう ・これからの望ましい技術について				
	37									
3	38									
	39									
40										
41										
42										
43										
44										
44										
計	44	35	①生活や技術への関心・意欲・態度 ②生活を工夫し創造する能力 ③生活の技能 ④生活や技術についての知識・理解							

※栽培の授業は、ものづくり(木製品の製作)と並行して行います。